

1. 本園の教育目標

お友だち、保護者、教諭、地域の方という、子どもたちが関わる人々、そして自分自身を大切に思うキリスト教の愛の精神を保育の源泉とし、決まった型に押し込めるのではなく、一人ひとりとじっくりと接する。また、進んで身近な人とかわり、愛情や信頼感、自分以外の人に共感する力を持ち、社会生活における望ましい習慣や態度を身につけ、子どもたち一人ひとりが持っている発達する力を引き出す援助をねらいとする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己評価および、教諭同士が相互に評価することによって、幼稚園教諭としての資質を高める。また、子どもたちへの安全への配慮、家庭との連携を深める。

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
<p>教諭の資質・指導能力、および保育内容の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の計画性について 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、キリスト教保育誌を用いて、年、学期、月、週、日毎に保育案を作成し、それを園長も閲覧し、指導も交えて協議を重ね、検討、実践、報告、反省という流れを持って、今、目の前にいる子どもたちに、何を提供すべきかを考え行った。 日々の報告会の中でも、実践の報告や振り返りと反省の時を持ち、次回の計画の更なる練り直しをする事で、より良いものを常に目指した。 内容としては五領域、更に「知・徳・体」に区分し、才児別に年間の目標をたて、それが達成できる様に、細かく目標を定めていった。 また、行事(発表会、作品展)を通して、保護者の方が子どもたちの成長を感じて頂くことができるようにと、行事内容も綿密に話し合い、計画した。
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研修について 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教諭が大阪府私立幼稚園連盟、大阪市私立幼稚園連合会、キリスト教保育連盟、各種民間業者の行う研修に積極的に参加した。 また、ただ参加するだけでなく、報告書を作成し、それを教員が回覧することにより、情報、成果の共有化を図った。 学んだことを、日頃の保育に活用することができるよう工夫している。

<p>・外部講師による研修</p>	<p>・絵画制作および運動に関しては外部の講師を招き、子どもたちに直接指導をしていただくことに併せて、教師に向けての園内研修会も行った。</p> <p>日頃の保育の中において疑問に思ったこと、困難に感じたことに対しての専門家からの指導をいただき、子どもたちへより適切な指導をする事が出来る様に心掛けた。</p>
<p>・園内研修</p>	<p>・上記の、教師に向けての絵画実技指導や、体育実技指導に加え、大阪市就学前教育カリキュラム、また、各々が改めて日頃の保育に対する目標（ねがい）を意識しつつ保育を行う事が出来る様、園内研修として、学びの機会も設けた。</p> <p>次年度以降も、引き続き行っていききたいと思う。</p>
<p>・子どもたちへの安全への教育</p>	<p>・園バスのない当園では、徒歩もしくは自転車での送迎が主であるが、その登園・降園時の交通マナーが例年の課題となっている。近隣の方や、地域の方たちへの配慮が必要となるので、その事に関しても、子どもたちへの指導、また、保護者の方への注意喚起も行っているが、今後も引き続きの指導・配慮を続ける必要がある。</p> <p>登園、降園の際の歩道の確保（長時間に渡る際の、園庭への駐輪の誘導）や、子どもの道路への飛び出しは減少したかと思われるが、この点も安心せず、引き続き注意喚起を行っていききたい。</p> <p>・また、防災への取り組み、ことに災害に備えた防災マニュアルの見直しをはかり、保護者の方との連携をより確実に取ることができるよう工夫し、「引き渡しカード」も作成し、活用出来る様にした。</p> <p>・毎年、火災による消防訓練や、地震による避難訓練も行っているが、避難訓練の回数自体も増やし、万一の際の小学校等への避難訓練も、可能であれば行いたい。</p>

<p>・家庭との連携</p>	<p>・保育内容や子どもたちの園での様子を知っていただくために、インターネットによる会員限定の写真公開、販売を行っている。参観や公開行事では伺うことのできない、普段の様子を知って頂くよい機会になっていると考えている。</p> <p>かつて問題のあった、一度の掲載枚数や掲載回数も、見やすい様に工夫し、掲載日程の固定化も図ったことで、安定して閲覧出来る様、かなり改善されているのではないかと思う。</p> <p>・園だより、クラスだより、また、日々の活動内容をボードに書き、掲示する事で、保育内容を少しでも詳しく知っていただくことができる様、努めている。</p> <p>また、以前より Facebook も必要に応じ活用してはいたが、ネット環境の不具合期間や、諸般の事情もあり、今年度は、お誕生日会のメニューや様子等の掲載に留まってしまったので、次年度はよりタイムリーな更新が出来る様、努めたいと思う。</p>
<p>・預かり保育の充実</p>	<p>・昨年同様、夏期預かり保育を行った。利用者は延べ人程度であった。また通常保育時の預かり保育では平均して 人、全園児の 17 パーセント程度が利用していた。</p> <p>これらは保護者の仕事や用事がある際に利用されることはもちろんだが、子どもたち同士の交流の場ともなり、預かり保育ならではの、ゆったりとした時間、異年齢児との関わりの中で、様々な遊びが発展していく光景を垣間見ることの出来るものであった。</p> <p>・また、小学校の参観日等に配慮することが出来るよう、園の行事等で、今までは行っていなかった日にも、短縮ではあるが今年度も預かり保育を行うようにした。</p> <p>今後も小学校との兼ね合いなど考慮しつつ、継続して行きたい。</p>
<p>・環境設備の充実</p>	<p>・園庭の樹木剪定や消毒、また、ピアノの調律に加え、園庭の土の搬入と均し、また特に今年度は、100 周年事業の一環として、夏には職員室の大規模リニューアルを行い、今までよりも、より教材研究に取り組みやすく、準備もしやすい環境となり、子ども達にとって、益々充実した保育を提供出来る様になった。</p> <p>また、今春には地震によるレンガの破損改修工事及び、東門エントランスの隆起改修工事、更に、二カ年計画として、園舎（保育室）トイレの大規模改修工事も予定しており、引き続き、今後も環境設備の充実を計って行きたいと思う。</p>

4. 学校評価の具体的な結果や計画の総合的な評価結果、および今後取り組むべき課題

・教職員は各クラスの実態の把握、そこから、保育案の作成、実施、反省と一連の流れの中で保育を行うことが出来る様、心掛けた。その中で、園児一人一人に必要な援助を、研修や園内の協議で分かち合ったことも踏まえ、実践するよう努めた。教師が定めた目標に達しないこともあったが、それを受け止め、子どもたちと共にどのように成長していくことが求められているかを考え、次に活かすことが出来る様、引き続き努力したい。

特に研修面では、小規模園で職員の人数も多くはない中、新規採用教員の資質向上も鑑みて特に積極的に外部研修にも参加した。また、事前の準備を入念に行う事により、行事だけではなく、通常の保育も更に充実させて行けるかと思うので、園長以下、主幹、副主任、担任、補佐の職務を都度確認し、今後もより密なる連携を図り、一層の努力を重ねて行きたい。

・子どもたちの安全への教育に関しては、ここ数年来の大きな課題となっている。特に降園時の交通マナーに関して、近隣の方たちから毎年厳しいご意見をいただいているので、保護者の方にもご理解・ご協力を頂き、子どもたちの安全のためにも、引き続きの意識付けをしていく必要があるかと思う。

・家庭との連携に関しては、保護者の方と協力しつつ、保育、行事を行うことができるようにと努めた。特にご協力をお願いする行事でも、保護者の方は子どもたちの豊かな成長のため、教師と協力し支えて下さった。日頃は、登園・降園の短い時間の中ではあるが、家庭での様子や園での様子を少しずつでも伝え合い、わかちあうことが出来ればと思っている。

また、今年は様々な事柄によって役員の皆様にご協力頂き、行事に関するアンケートも取ったりする中で、保護者の皆様の思いを園としても受け止めつつ、連携を図れる様に努めてきた。ご迷惑をお掛けした事も多々あったかと思うが、そのような中でも、役員の方々は本当に良くご理解頂き、また、ご尽力下さった。ただただ、感謝でしかなかった。

次年度は、100周年も控えており、役員の方々とはより一層の連携を図りながら、共に成長しつつ歩んで行ければと考えている。

・地域との連携に関しては、金蘭会高等学校中学校との日頃からの交流の結果、園児との交流会も持つ事が出来ており、バザーに於いてもよき交流の時を持っている。また、運動会開催場所（上福島小学校の建て替え工事によるグラウンドの使用不可）問題も、快くお受けいただく事が出来ていると思う。その運動会で、今年も近隣の特別老人ホームのお年寄りの方もお招きし、お越し頂く事も出来、また、今年に関しては特別老人ホームの方々とも交流を図る事が出来た。

また“園だより”を4年前から近隣の小学校に送付し、少しでも当園の様子や予定を伝えられるよう工夫していたが、その効果が表れ、鷺洲小学校からは小学校便りも送られる様になり、今年、小学校へ年長児を連れて、図書室の見学や、読み聞かせ等交流させて頂く機会も持てた。

これからも地域の方々と寄り添い、互いに支え合いながら、善き交流を持てる様、努めて行きたいと思う。

・預かり保育 特に夏期預かり保育に関しては、目標を達成できていると考える。

・設備の充実に関しては、今後も引き続き理事会と連携を図りつつ、検討して行きたい。

*次年度は、100周年事業の一環として、園舎保育室トイレの大規模改修工事

また、昨年度予定が延期になった、旧職員室の「絵本のお部屋」へのリニューアルを計画している。

5. 学校関係者評価

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。